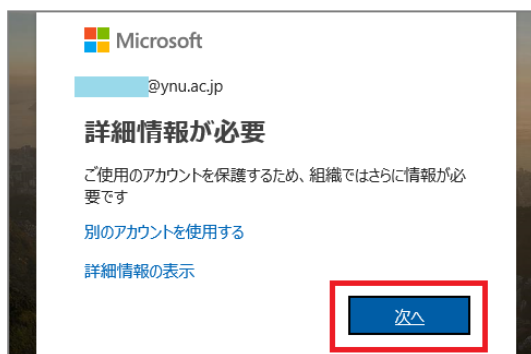


# 多要素認証設定マニュアル

## 3-電話による認証

## 電話による認証

### ★ 初回（多要素認証を初めて利用するとき）の使用開始時の設定



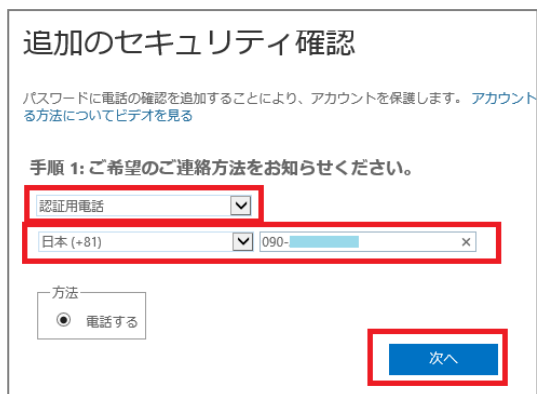
#### [初回設定-1]

情報基盤センター側で多要素認証を有効化すると、その後、利用者側で初めてOffice365にサインインした時に左のような「詳細情報が必要」という画面が表示されます。「次へ」をクリックして、設定を開始してください。

#### [初回設定-2]

『追加のセキュリティ確認』の「手順1」の画面に移ります。

- 手順1：「ご希望のご連絡方法をお知らせください。」  
⇒「**認証用電話**」を選択してください。  
\*【重要】電話の選択肢は、「認証用電話」と「会社電話」の2種類ありますが、「会社電話」は選択しないでください。「認証用電話」を選択しても、大学の電話番号を入力できます。
- 国際番号として「日本 (+81)」を選択し、事前に決めていた電話番号（スマートフォン、携帯電話、自宅の固定電話、職場（大学）の電話等）を入力してください。
- 「次へ」をクリックします。



#### [初回設定3]

『追加のセキュリティ確認』の「手順2」の画面に移ります。

手順2：お客様の電話 +81 ■■■ に発信中です  
というメッセージが表示され、[初回設定 2]の2.で入力した電話番号に電話がかかってきますので、日本語音声ガイダンスに従って操作してください。  
\* 2019/5/23 時点では、「#ボタンを押してください」とのガイダンスが流れます。  
\* アナログ回線の場合は、「\*トーン」ボタンを押してから「#シャープ」を押してみてください。  
確認に成功すると、自動的に（手順3）に移動します。もし、自動的に移動しない場合は、「次へ」ボタンが有効になりますので、クリックして進みます。



### 追加のセキュリティ確認

パスワードに電話の確認を追加することにより、アカウントを保護します。 [アプリの方法についてビデオを見る](#)

#### 手順 3: 既存のアプリケーションを使用し続ける

Outlook、Apple Mail、また Microsoft Office などのアプリでは、アカウントのことはできません。これらのアプリを使用するには、職場または学校アカウントなアプリパスワードを作成する必要があります。 [詳細情報を見る](#)

このアプリパスワードで今すぐ開始:

zylyggnsx [完了]

#### 【初回設定4】

『追加のセキュリティ確認』の「手順3」の画面に移ります。

1. 手順3：既存のアプリケーションを使用し続けるという画面が表示されます。この画面の中に「アプリパスワード」が表示されます。このアプリパスワードは、スクリーンショットをとるか、あるいはメモするなどして大事に保管しておいてください。  
\* このアプリパスワードは、多要素認証が取り扱えないアプリケーションソフト、例えば、Outlook、Thunderbird、Apple Mail等のメールソフトを利用して、Office365にアクセスし、メールを送受信する際、メールソフト側に設定するパスワードとなります。
2. 完了をクリックします。

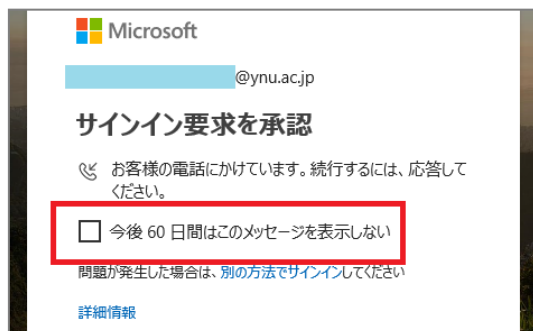
以上で設定は終了です。

## ★ 2回目以降の利用方法



Office365にサインインすると、左のように、「お客様の電話にかけています。続行するには、応答して下さい」というメッセージが出るので、電話に出て、日本語音声ガイダンスに従って操作してください。

\* 2019/5/23 時点では、「#ボタンを押してください」とのガイダンスが流れます。



『☐ 今後60日間はこのメッセージを表示しない』にチェックをつけておくと、一度認証された環境（同一デバイス、かつ、同一のウェブブラウザ）では60日間、この多要素認証の要求が表示されません。この機能は、必要に応じてご利用ください。

#### 【注意事項】

多要素認証が要求されるのは、Office365にサインインするときのみであり、Office365を使用しているとき（サインイン中）は多要素認証が求められることはありません。従いまして、もし、Office365を使用しているとき（サインイン中）に多要素認証が要求された場合（電話がかかってきた場合）は、悪意のある第三者に「IDとパスワードによる認証」を突破された可能性があります。このような場合は、絶対に電話の#ボタンを押さないでください。そして、速やかに、YNU-ISIRT（内）4470 までご連絡ください。